

2024年度(前期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アクション基礎			2	的場 翔平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	アクションチーム-SEITEN-代表

アクションの原理を知り、空手の技を習得する。
派手なアクションができるようにカンフーの技を習得する。

- ☐ 授業テーマ
- 怪我を絶対しないアクションを目指し、そのための準備やストレッチを徹底します。

- ☐ 授業項目
- ☐ 授業内容

1	／	アクションの原理	アクションの原理の説明と簡単なアクションを体験。
2	／	型 1	正拳突き、裏拳、肘打ちとその受け、防ぎ方の習得
3	／	型 2	回し蹴り、前蹴り、押し蹴りとその受け、防ぎ方の習得。
4	／	型 3	後ろ蹴り、後ろ回し蹴り、二段蹴りとその受け、防ぎ方の習得。
5	／	型 4	習得した技を使ったアクションを行い、距離感や足運びなどを覚える。
6	／	試験課題練習	テスト用のアクションを覚える。
7	／	実技試験	アクションのテストを実施する。
8	／	カンフーの理解	カンフーの説明と簡単なアクションを行う。
9	／	型 5	多種多様なパンチ、ショウダとその受け、防ぎ方の習得。
10	／	型 6	足刀、飛び足刀、ローリングソバットとその受け、防ぎ方の習得。
11	／	型 7	二段回し蹴り、二段足刀、旋風脚とその受け、防ぎ方の習得。
12	／	型 8	習得した技を使ったアクションを行い、より大きく動くことを意識しながら、距離感や足運びを覚える。
13	／	試験課題練習	テスト用のアクションを覚える。
14	／	実技試験	アクションのテストを実施する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

- ☐ 到達目標
- 安全の確保
- ☐ 評価方法
- 実施試験

- ☐ 教科書 ・ 参考文献
- ☐ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アクション基礎			2	的場 翔平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	アクションチーム-SEITEN-代表

☐ 授業概要

剣術の基本の技を習得し、アクションの幅を広げる。

拳法と剣術の融合したアクションを行い、さらにアクションの幅を広げる。

☐ 授業テーマ

怪我を絶対しないアクションを目指し、そのための準備やストレッチを徹底します。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	型 9	剣術の説明と簡単なアクションを行う。
2	型 1 0	5つの構え、斬り方とその受け、防ぎ方の習得。
3	型 1 1	天、地、鐔迫り合い、すり足の習得。
4	型 1 2	簡単なアクションの中で牽制を覚える。
5	型 1 3	習得した技を使ったアクションを行い、距離感や足運びなど
6	試験課題練習	テスト用のアクションを覚える。
7	実技試験	アクションのテストを実施する。
8	型 1 4	空手とカンフーの復習。
9	型 1 5	正拳突き、裏拳などの上半身を使った技と剣術の技を組み合わせる。
10	型 1 6	回し蹴り、押し蹴りなどの下半身を使った技と剣術の技を組み合わせる。
11	型 1 7	二段の足技と剣術を組み合わせる。旋風脚を昇華させ、旋風斬りを習得する。
12	型 1 8	今まで覚えた技でアクションを作る。
13	試験課題練習	テスト用のアクションを覚える。
14	実技試験	アクションのテストを実施する。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

安全の確保

☐ 評価方法

実施試験

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

実施試験の動画撮影

2024年度(前期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱基礎			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	タレント・MC・アーティスト

□ 授業概要

発声法及び歌唱表現力を深めるための実習を行う。

□ 授業テーマ

美しい自然な声で歌うために必要なテクニックを習得する。
歌詞と音楽の関係を探り、その歌曲の持つ言葉のリズムと旋律性を生かした歌唱表現技術を学ぶ。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	歌唱基礎①	基礎発声(腹式呼吸等) 基本の発声を身に付ける
2	／	歌唱基礎②	Mixボイス方法 Mixvo.の響きの確認
3	／	歌唱基礎③	鼻腔の共鳴 ハミングで鼻腔の響きの確認
4	／	歌唱基礎④	喉の柔軟性 声門の開閉運動
5	／	歌唱基礎⑤	高域の拡大 様々フレーズで発音
6	／	歌唱基礎⑥	ボイスチェンジ法 胸声区から中声区、頭声区へ変化
7	／	歌唱基礎⑦	リズムトレーニング ハンドクラップで表現
8	／	歌唱基礎⑧	音程トレーニング 様々インターバル使用し発声
9	／	歌唱基礎⑨	洋楽の発声法 正しい英語発音を身に付ける
10	／	歌唱基礎10	コーラスの強化 ハモリの耳をきたえる
11	／	歌唱基礎11	課題曲歌唱 I 合唱曲(課題曲 その1)歌唱チェック
12	／	歌唱基礎12	課題曲歌唱 I 合唱曲(課題曲 その1)歌唱チェック
13	／	歌唱基礎13	課題曲歌唱 II 合唱曲(課題曲 その2)歌唱チェック
14	／	歌唱基礎14	課題曲歌唱 II 合唱曲(課題曲 その2)歌唱チェック
15	／	歌唱基礎15	課題曲歌唱 III 合唱曲(課題曲 その3)歌唱チェック
16	／	歌唱基礎16	課題曲歌唱 III 合唱曲(課題曲 その3)歌唱チェック

□ 到達目標

発声の基礎を理解

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱基礎			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	タレント・MC・アーティスト

□ 授業概要

発声法及び歌唱表現力を深めるための実習を行う。

□ 授業テーマ

美しい自然な声で歌うために必要なテクニックを習得する。
歌詞と音楽の関係を探り、その歌曲の持つ言葉のリズムと旋律性を生かした歌唱表現技術を学ぶ。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	歌唱基礎①	基礎発声 リップ、タンゴロールで抜かせる
2	／	歌唱基礎②	Mixvo.の定着 やわらかい響き作り
3	／	歌唱基礎③	口・鼻・喉の共鳴 それぞれの違いの確認
4	／	歌唱基礎④	Middlevo.の強化 閉鎖筋の強化
5	／	歌唱基礎⑤	リズムトレーニング&音程 音程発声にリズムを追加
6	／	歌唱基礎⑥	ゴスペル4声パート練習 パートごとの安定
7	／	歌唱基礎⑦	ゴスペル4声5曲完成 発表の場を設け、達成感を味わう
8	／	歌唱基礎⑧	課題曲練習 ゴスペル歌唱チェック
9	／	歌唱基礎⑨	課題曲練習 ゴスペル歌唱チェック
10	／	歌唱基礎10	課題曲歌唱 I ゴスペル(課題曲 その1)歌唱チェック
11	／	歌唱基礎11	課題曲歌唱 I ゴスペル(課題曲 その1)歌唱チェック
12	／	歌唱基礎12	課題曲歌唱 II ゴスペル(課題曲 その2)歌唱チェック
13	／	歌唱基礎13	課題曲歌唱 II ゴスペル(課題曲 その2)歌唱チェック
14	／	歌唱基礎14	課題曲歌唱 III ゴスペル(課題曲 その3)歌唱チェック
15	／	歌唱基礎15	試験用課題曲レッスン 歌唱チェック
16	／	歌唱基礎16	試験用課題曲レッスン 歌唱チェック

□ 到達目標

発声の基礎の理解

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタッフワーク I			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	舞台装置集団 兄弟船 小細工部

☐ 授業概要

演劇公演本番までの一連の流れを理解し、実際公演で使用するすべての道具を準備します。

☐ 授業テーマ

演劇公演に於ける基本的な用語や道具を理解します。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	演劇の裏方とは？	演劇のスタッフってなにがある？：演劇スタッフの職務について。
2	／	工具について	学校にある工具を見てみよう。：在庫管理、備品の使用、工具の名称、使い方。
3	／	舞台用語	舞台上で使う用語、寸法を知ろう。：舞台上で使う用語、寸法。舞台空間の作り方。搬入搬出。
4	／	パンチカーペット	パンチカーペットの使い方。：床養生の考え方と、整理の仕方。
5	／	加工	木を切ってみよう。：木材加工の基礎。ケガク→切る。カッター、鋸。
6	／	塗装	色を塗ってみよう。：塗装の考え方。
7	／	接着	接着すること。：テープ、接着の基礎。
8	／	公演の準備を進めよう①	公演準備、計画を再確認しよう。
9	／	公演の準備を進めよう②	公演準備、チームで協力して進めよう。
10	／	公演の準備を進めよう③	公演準備、不足は無いか確認しよう。
11	／	公演の準備を進めよう④	公演準備、パンフ準備
12	／	公演の準備を進めよう⑤	公演準備、最終チェック。
13	／	演劇公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
14	／	次の公演に向けて	片付け。：在庫管理。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演の成功

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタッフワーク I			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	舞台装置集団 兄弟船 小細工部

□ 授業概要

演劇のスタッフワークの技術を知る。
進級公演を通して、協力することを学ぶ。

□ 授業テーマ

能動的に作業を進める

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	舞台にかかるコストを考えよう	時間、空間、資金と資材。
2	／	劇場空間を知ろう	図面の読み方。劇場利用の流れ。
3	／	タイムテーブルを組んでみよう	公演の進行把握。それぞれのスタッフの動きを知る。
4	／	板をつなぎ合わせよう	ビスと釘の選び方。
5	／	電動工具を使ってみよう	インパクト、ジグソーの使い方。
6	／	公演の準備を進めよう①	公演準備、計画を再確認しよう。
7	／	公演の準備を進めよう②	公演準備、仮道具の準備はOK?
8	／	公演の準備を進めよう③	公演準備、チラシを仕上げよう。
9	／	公演の準備を進めよう④	公演準備、チラシの最終チェック。
10	／	公演の準備を進めよう⑤	公演準備、宣伝方法を考えよう。
11	／	公演の準備を進めよう⑥	公演準備、図面を仕上げよう。
12	／	公演の準備を進めよう⑦	公演準備、不足はないか確認しよう。
13	／	公演の準備を進めよう⑧	公演準備、パンフ準備
14	／	公演の準備を進めよう⑨	公演準備、最終チェック。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演を成功させる

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語基礎			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

発声発音の基礎知識 & 技術の習得

正しい標準語アクセントの習得とイントネーションに必要な 6 種の変化の習得

☐ 授業テーマ

滑舌、アクセント、鼻濁音、アーティキュレーションの存在を知り、実践。

将来的には、外部ナレーション依頼に対応できるよう。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	日本語概論	マッサージ・ストレッチ・筋肉トレーニング・呼吸・発声の方法について説明、実践
2	／	テクニック①	明瞭な発音の方法について説明、実践
3	／	テクニック②	鼻濁音の理論と発音方法説明、実践
4	／	テクニック③	無声化の理論と発音方法説明、実践
5	／	定着	総復習
6	／	実技試験	テクニックの確認テスト
7	／	追試	追試
8	／	アクセント概論	アクセントの型と表記方法を知る アクセント辞典の使い方を確認する
9	／	実践①	正しい標準語アクセントの発音を練習問題を使用し繰り返す
10	／	実践②	ブレスと間の使い方を知る 読み練習
11	／	実践③	リズム・テンポ・トーン・タッチの使い方を知る 読み練習
12	／	実技試験①	夏休み明け確認テスト
13	／	実技試験②	夏休み明け確認テスト
14	／	追試	追試
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

滑舌、アクセント、鼻濁音、アーティキュレーションの把握。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

日本語アクセント辞典

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語基礎			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	劇団goto 主宰/代表

□ 授業概要

口周りの技術を安定させ、外部依頼のナレーションに対応できるように準備します。

□ 授業テーマ

プロミネンスとイントネーションを使えるようになり、ボイスサンプル作成を開始する

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	テクニック④・実践④	プロミネンスの方法を知る 実践
2	／	テクニック⑤・実践⑤	イントネーションの方法を知る 実践
3	／	ボイスサンプル作成 1	技術習得確認試験「課題原稿を読む」、ボイスサンプル構成について説明 作成開始
4	／	ボイスサンプル作成 2	ボイスサンプル原稿作成→確認繰り返し→完成
5	／	ボイスサンプル作成 3	ボイスサンプル喋り練習→ダメ出し繰り返し
6	／	ボイスサンプル作成 4	ボイスサンプル喋り練習→ダメ出し繰り返し
7	／	筆記試験・実施試験	編集ソフト：ガレージバンド使用方法説明 実践
8	／	ボイスサンプル作成 5	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
9	／	ボイスサンプル作成 6	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
10	／	ボイスサンプル作成 7	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
11	／	ボイスサンプル作成 8	編集物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
12	／	ボイスサンプル作成 9	編集物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
13	／	ボイスサンプル作成 10	編集物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
14	／	筆記試験・提出物	編集ソフト：ガレージバンド使用方法説明 実践
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

ボイスサンプルの完成

□ 評価方法

筆記試験・提出物（ボイスサンプル）

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	俳優役者基礎			4	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

「演劇ゼミナール」の授業とリンクしており、同じ演出講師の元、演劇公演本番までの一連の流れを体験します。見られている外見を意識過剰になります。

☐ 授業テーマ

演劇には共演者がいます。その共演者とシーンを作るわけですから、共演者に反応することが芝居になります。芝居は反応をすることを体現します。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャストにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャストにて読合せ、半立ち稽古1～2/11
3	／	基礎練習	半立ち稽古4～5/11、立稽古2/11
4	／	基礎練習	半立ち稽古7～8/11、立稽古4/11
5	／	基礎練習	半立ち稽古10～11/11、立稽古6～7/11
6	／	基礎練習	立稽古9～10/11
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演

基礎練習の必要性の理解

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	俳優役者基礎			4	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

「演劇ゼミナール」の授業とリンクしており、同じ演出講師の元、演劇公演本番までの一連の流れを体験します。

☐ 授業テーマ

同じメンバーを芝居を作っていくと、固定されたイメージがトレーニングの邪魔をすることがあります。常に心身のニュートラルをキープし、毎日が初めての体験としてトレーニングします。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	基礎練習	本キャストにて読合せ、半立ち稽古1～2/11
2	基礎練習	半立ち稽古4～5/11、立稽古2/11
3	基礎練習	半立ち稽古6～7/11、立稽古3/11
4	基礎練習	半立ち稽古9～10/11、立稽古5/11
5	基礎練習	立稽古7～8/11
6	基礎練習	立稽古10～11/11
7	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	基礎練習	小返し
9	基礎練習	小返し
10	基礎練習	小返し、通し稽古
11	基礎練習	小返し
12	基礎練習	小返し、通し稽古
13	基礎練習	小返し
14	基礎練習	小返し、本番前最終通し稽古
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演
基礎練習リードの担当

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2024年度(前期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	身体表現			4	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	ダンサー・インストラクター

□ 授業概要

身体各部位の解剖学的理解（座学）と体現(ムーブメント)
身体の部位（肩、足）及び姿勢と歩行の解剖学的理解と体現（ムーブメント）

□ 授業テーマ

身体の自意識を上げます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	測定①（把握）	身体の成長と自身の現状を把握（測定）及びエクササイズの質を高める為のイメージワークを学ぶ
2	／	呼吸について	呼吸のメカニズムを学び、体現する。
3	／	機能解剖学①	身体育成法により、運動と呼吸の連動を意識して動く。骨盤の機能解剖学を学ぶ。
4	／	機能解剖学②	骨盤の動きを体現するムーブメント、及びリリース。背骨の機能解剖学を学ぶ。
5	／	ピラティス①	背骨の動きを体現したムーブメント及びリリース。ピラティスによるスパインワーク。
6	／	ピラティス②	呼吸、骨盤、背骨の解剖学と機能のまとめ、関連のムーブメントとピラティス。
7	／	筆記試験	筆記試験。ムーブメントの復習。
8	／	機能解剖学③	肩の機能解剖学を学び、体現する。
9	／	身体育成法	肩～腕の連動に関する身体育成法Ⅰ課程の実施。
10	／	機能解剖学④	足の機能解剖学を学び体現する。フットコンディショニング。
11	／	姿勢について	座る、立つ、歩くという連動する運動からスムーズな動きと姿勢について学ぶ。
12	／	ムーブメント	各部位のムーブメントの実施により、機能の向上を図る
13	／	測定②（変化）	2回目の測定を実施して、自身の変化と課題を確認する。
14	／	筆記試験	ムーブメントの復習。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

専門用語の把握

□ 評価方法

筆記試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	身体表現			4	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	ダンサー・インストラクター

□ 授業概要

ピラティスと身体育成法を中心に、個人の身体的クセを解き、ニュートラル状態を目指します。

□ 授業テーマ

実技よる、日頃認識しない身体的な特徴を把握し、可動範囲を広げます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ピラティス③	ピラティス（呼吸、コア、ロール系）身体育成法Ⅰ課程 1・2項目（呼吸、肩、弾性運動）
2	／	ピラティス④	ピラティス(体幹のワーク) 身体育成法Ⅰ課程1・2・9項目（跳躍運動追加）
3	／	ピラティス⑤	ピラティス(ボールのワーク)身体育成法Ⅰ課程1・2・9項目バリエーション追加
4	／	ピラティス⑥	ピラティス（セラバンド）身体育成法Ⅰ課程1・2・5（空間との関わり）
5	／	ピラティス⑦	ピラティスと身体育成法を復習する
6	／	まとめ	まとめのレポートについて確認し、実技試験の課題練習をする
7	／	実技試験	レポート提出、実技試験
8	／	身体育成法①	身体育成法Ⅰ課程（リズムと空間の課題） マット運動（ローリング、肩倒立、前後転）
9	／	身体育成法②	身体育成法Ⅰ課程（アドバンス）マット運動（前後転系のバリエーション）
10	／	身体育成法③	身体育成法Ⅰ課程（複合リズム）、 マット運動（コンタクトテクニックから補助倒立へ）
11	／	身体育成法④	身体育成法Ⅰ課程(方向転換を加えた運動)、マット運動、補助倒立、側転の基本
12	／	身体育成法⑤	身体育成法Ⅰ課程（方向転換の運動）、マット運動（前転系～側転の練習）
13	／	計測③	計測(3回目)を実施して、1年間の変化と課題を確認する 実技試験の練習
14	／	実施試験	実技試験:身体育成法Ⅰ課程より空間の項目と回転の基礎。マット運動（前転系）、1年間の 総括と課題確認（レポート提出）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

身体表現の向上

□ 評価方法

筆記試験、実技試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナール基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

□ 授業概要

基礎練習を通して、俳優としての心身を確立します。俳優としての心身の確立とは、与えられた登場人物、シーンを演じるための肉体と精神を持ち合わせているということです。また、夏休み前の演劇公演に向けて、課題の台本分析、キャスティング、読み合わせ、半立ち稽古、立ち稽古、通し稽古のように、演劇公演本番までの一連の流れを体験します。

□ 授業テーマ

プレスクールで得た、俳優マインドを実践として体感していきます。俳優の特権的な体験である「劇的体験」を体現します。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャスティングにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャスティングにて読合せ、半立ち稽古①
3	／	基礎練習	半立ち稽古②
4	／	基礎練習	半立ち稽古③
5	／	基礎練習	半立ち稽古④、立稽古①
6	／	基礎練習	立稽古②
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演への出演
基礎練習の必要性の理解

□ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

演劇祭用の課題台本

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナール基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

基礎練習は俳優業界を目指すのであるなら継続的に続きます。与えられた登場人物・シーンを演じるための心身を確立します。俳優学科では、1年間に2回の演劇公演への出演をしますが、舞台演技に求められることを、体感的に学びます。

☐ 授業テーマ

ストレートプレイの充実を求めます。演劇公演は総合芸術と言われます。照明、音響、大道具、小道具など演出は多岐に渡りますが、俳優学科は、自分自身が表現メディア故、上記の演出がなくとも芝居を成立させないといけないという認識の元、演じます。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャストにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャストにて読合せ、半立ち稽古①
3	／	基礎練習	半立ち稽古②
4	／	基礎練習	半立ち稽古③
5	／	基礎練習	半立ち稽古④、立稽古①
6	／	基礎練習	立稽古②
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演
基礎練習リードの担当

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス基礎			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	ダンサー・インストラクター

☐ 授業概要

踊るために必要な基礎的なトレーニングを行います。

☐ 授業テーマ

アクションとダンスを俳優学科に於ける、ストレートプレイ以外の能力としてして鍛えます。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	授業の流れを知る	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
2	／	リズムの取り方	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
3	／	課題の振付を覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
4	／	課題の振付を覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
5	／	課題の振付を覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
6	／	課題の振付を覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
7	／	実技テスト	トレーニング内容の確認
8	／	ステップ①覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
9	／	ステップ②覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
10	／	ステップ③覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
11	／	ステップ④覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
12	／	ステップ⑤⑥覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
13	／	ステップ⑦⑧覚える	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
14	／	実技テスト	8つのステップのテスト
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

踊ることに慣れる

☐ 評価方法

実技試験

☐ 教科書・参考文献☐ その他

必要に応じて動画撮影

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス基礎			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	ダンサー・インストラクター

□ 授業概要

自由なダンス表現に挑戦します。

□ 授業テーマ

フォーメーションダンスにおける空間認識の強化。

創作ダンス（振り付けを分析し表現する）

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	フォーメーション振付を覚える□	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。□
2	／	フォーメーション振付を覚える□	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
3	／	フォーメーション振付を覚える□	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
4	／	フォーメーション振付を覚える□	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
5	／	フォーメーション振付を覚える□	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
6	／	フォーメーション振付を覚える□	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
7	／	テスト	実技テスト
8	／	選曲、グループを作る	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。□
9	／	創作ダンス	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
10	／	創作ダンス	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
11	／	創作ダンス	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
12	／	創作ダンス	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
13	／	創作ダンス	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
14	／	テスト	実技テスト
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

表現力を身につける

□ 評価方法

実技試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界対策			2	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出/脚本

□ 授業概要

過去の表現作品の考察
プロフシート作成
オーディションに向けての業界進出準備

□ 授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
卒業後の業界進出準備
プロフシートの添削・作成・完成・提出まで

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品 プロフシート配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフシート作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフシート回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
8	／	業界進出準備・対策①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品 プロフシート添削配布
9	／	業界進出準備・対策②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
10	／	業界進出準備・対策③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフシート回収
11	／	業界進出準備・対策④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
12	／	業界進出準備・対策⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品 プロフシート添削配布
13	／	業界進出準備・対策⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
14	／	業界進出準備・対策⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフシート完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

プロフシート添削・完成・企業への提出
映画作品研究をし表現の幅を広げる

□ 評価方法

オーディション参加のためのプロフシート完成

□ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

□ その他

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界対策			2	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出/脚本

□ 授業概要

過去の表現作品の考察
プロフシート作成
オーディションに向けての業界進出準備

□ 授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
卒業後の業界進出準備
プロフシートの添削・作成・完成・提出まで

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフシート配布
2	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート作成
3	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート回収
7	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフシート添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフシート添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

□ 到達目標

プロフシート添削・完成・企業への提出
映画作品研究をし表現の幅を広げる

□ 評価方法

オーディション参加のためのプロフシート完成

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム I			2	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	劇団主宰・代表／演出

□ 授業概要

所属だけでなく、キャスティングのオーディションへの対応力を備える

□ 授業テーマ

1. 自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。
2. 業界を知る…現状を知り、将来について考える。
3. 仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。
4. オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのか

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	オーディション基礎①	オリエンテーション(この授業の意義について)
2	／	オーディション基礎②	オーディション実習とフィードバック①
3	／	オーディション基礎③	オーディション実習とフィードバック②
4	／	オーディション基礎④	オーディション実習とフィードバック③
5	／	オーディション基礎⑤	オーディション実習とフィードバック④
6	／	オーディション基礎⑥	オーディション実習とフィードバック⑤
7	／	オーディション基礎⑦	模擬オーディション①
8	／	オーディション基礎⑧	模擬オーディション②
9	／	オーディション基礎⑨	模擬オーディション③
10	／	オーディション基礎⑩	模擬オーディションのフィードバック①
11	／	オーディション基礎11	模擬オーディションのフィードバック②
12	／	オーディション基礎12	模擬オーディションのフィードバック③
13	／	オーディション基礎13	学内オーディション対策①
14	／	オーディション基礎14	学内オーディション対策②
15	／	オーディション基礎15	学内オーディション対策③
16	／	オーディション基礎16	学内オーディション対策④

□ 到達目標

オーディション理解

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム I			2	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	劇団主宰・代表／演出

□ 授業概要

所属だけでなく、キャストिंगのオーディションへの対応力を備える

□ 授業テーマ

1. 自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。
2. 業界を知る…現状を知り、将来について考える。
3. 仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。
4. オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのか

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	オーディション基礎①	学内オーディション対策④
2	／	オーディション基礎②	学内オーディション対策⑤
3	／	オーディション基礎③	学内オーディション対策⑥
4	／	オーディション基礎④	オーディション実習とフィードバック⑥
5	／	オーディション基礎⑤	オーディション実習とフィードバック⑦
6	／	オーディション基礎⑥	オーディション実習とフィードバック⑧
7	／	オーディション基礎⑦	オーディション実習とフィードバック⑨
8	／	オーディション基礎⑧	オーディション実習とフィードバック⑩
9	／	オーディション基礎⑨	学内オーディション リハーサル
10	／	オーディション基礎⑩	学内オーディション 本番
11	／	オーディション基礎11	フィードバック
12	／	オーディション基礎12	フィードバック
13	／	オーディション基礎13	合同オーディション
14	／	オーディション基礎14	フィードバック
15	／	オーディション基礎15	フィードバック
16	／	オーディション基礎16	フィードバック

□ 到達目標

オーディション理解

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニング I			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	32	ナレーター・MC

□ 授業概要

所属だけでなく、キャストिंगのオーディションへの対応力を備える

□ 授業テーマ

1. 自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。
2. 業界を知る…現状を知り、将来について考える。
3. 仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。
4. オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのか

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	オーディション実践①	オーディション実務
2	／	オーディション実践②	オーディション実務
3	／	オーディション実践③	これからの日本
4	／	オーディション実践④	感性を磨く
5	／	オーディション実践⑤	人の目を気にしない方法
6	／	オーディション実践⑥	やりたい事の見つけ方
7	／	オーディション実践⑦	ネガティブな思考を改善するには
8	／	オーディション実践⑧	心を軽くする考え方
9	／	オーディション実践⑨	現代社会研究
10	／	オーディション実践⑩	好きなことで生きていく
11	／	オーディション実践11	僕らZ世代の将来
12	／	オーディション実践12	芸能業界デビュー対策
13	／	オーディション実践13	芸能業界デビュー対策
14	／	オーディション実践14	オーディション対策
15	／	オーディション実践15	オーディション対策
16	／	オーディション実践16	オーディション対策

□ 到達目標

オーディション理解

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅡ			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	32	ナレーター・MC

- ☐ 授業概要
- 所属だけでなく、キャスティングのオーディションへの対応力を備える

- ☐ 授業テーマ
- 1.自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。

2.業界を知る…現状を知り、将来について考える。

3.仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。

4.オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのか

- ☐ 授業項目
- ☐ 授業内容

1	／	オーディション実践①	エントリーシートの書き方
2	／	オーディション実践②	エントリーシートの書き方
3	／	オーディション実践③	エントリーシートの書き方
4	／	オーディション実践④	少子化・G5時代の到来・ビジネスセンスの重要性など
5	／	オーディション実践⑤	感性とは何か?感動できる人間になること
6	／	オーディション実践⑥	世間話と社会話の違いについて、サードプレイスから世界を広げる。
7	／	オーディション実践⑦	芸能を進路先にするにあたってセルフプロモーションとは。
8	／	オーディション実践⑧	芸能を進路先にするにあたってセルフプロモーションとは。
9	／	オーディション実践⑨	デビューの傾向と対策。5つのキーワード
10	／	オーディション実践⑩	デビューの傾向と対策。5つのキーワード
11	／	オーディション実践11	デビューの傾向と対策。5つのキーワード
12	／	オーディション実践12	審査員にみられる演技力のポイント
13	／	オーディション実践13	審査員にみられる演技力のポイント
14	／	オーディション実践14	審査員にみられる演技力のポイント
15	／	オーディション実践15	審査員にみられる演技力のポイント
16	／	オーディション実践16	オーディション対策

- ☐ 到達目標

オーディション理解
- ☐ 評価方法

実施試験

- ☐ 教科書 ・ 参考文献
- ☐ その他

2024年度(前期) 俳優学科 2 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	劇団主宰・代表／演出

- ☐ 授業概要
- 所属だけでなく、キャスティングのオーディションへの対応力を備える

- ☐ 授業テーマ
1. 自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。
 2. 業界を知る…現状を知り、将来について考える。
 3. 仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。
 4. オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのか

- ☐ 授業項目
- ☐ 授業内容

1	／	オーディション実践①	オーディション実務
2	／	オーディション実践②	オーディション実務
3	／	オーディション実践③	これからの日本
4	／	オーディション実践④	感性を磨く
5	／	オーディション実践⑤	人の目を気にしない方法
6	／	オーディション実践⑥	やりたい事の見つけ方
7	／	オーディション実践⑦	ネガティブな思考を改善するには
8	／	オーディション実践⑧	心を軽くする考え方
9	／	オーディション実践⑨	現代社会研究
10	／	オーディション実践⑩	好きなことで生きていく
11	／	オーディション実践11	僕らZ世代の将来
12	／	オーディション実践12	芸能業界デビュー対策
13	／	オーディション実践13	芸能業界デビュー対策
14	／	オーディション実践14	オーディション対策
15	／	オーディション実践15	オーディション対策
16	／	オーディション実践16	オーディション対策

- ☐ 到達目標
- オーディション理解
- ☐ 評価方法
- 実施試験

- ☐ 教科書 ・ 参考文献
- ☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	劇団主宰・代表／演出

☐ 授業概要

所属のためのオーディションばかりでなく、キャスティングのオーディションにも対応する。

☐ 授業テーマ

- 1.自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。
- 2.業界を知る…現状を知り、将来について考える。
- 3.仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。
- 4.オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのか

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	オーディション実践①	エントリーシートの書き方
2	／	オーディション実践②	エントリーシートの書き方
3	／	オーディション実践③	エントリーシートの書き方
4	／	オーディション実践④	少子化・G5時代の到来・ビジネスセンスの重要性など
5	／	オーディション実践⑤	感性とは何か?感動できる人間になること
6	／	オーディション実践⑥	世間話と社会話の違いについて、サードプレイスから世界を広げる。
7	／	オーディション実践⑦	芸能を進路先にするにあたってセルフプロモーションとは。
8	／	オーディション実践⑧	芸能を進路先にするにあたってセルフプロモーションとは。
9	／	オーディション実践⑨	デビューの傾向と対策。5つのキーワード
10	／	オーディション実践⑩	デビューの傾向と対策。5つのキーワード
11	／	オーディション実践11	デビューの傾向と対策。5つのキーワード
12	／	オーディション実践12	審査員にみられる演技力のポイント
13	／	オーディション実践13	審査員にみられる演技力のポイント
14	／	オーディション実践14	審査員にみられる演技力のポイント
15	／	オーディション実践15	審査員にみられる演技力のポイント
16	／	オーディション実践16	審査員にみられる演技力のポイント

☐ 到達目標

オーディション理解

☐ 評価方法

実施試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱表現			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	タレント・MC・アーティスト

□ 授業概要

発声法及び歌唱表現力を深めるための実習を行う。

□ 授業テーマ

美しい自然な声で歌うために必要なテクニックを習得する。
歌詞と音楽の関係を探り、その歌曲の持つ言葉のリズムと旋律性を生かした歌唱表現技術を学ぶ。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	歌唱基礎①	基礎発声(腹式呼吸等) 基本の発声を身に付ける
2	／	歌唱基礎②	Mixボイス方法 Mixvo.の響きの確認
3	／	歌唱基礎③	鼻腔の共鳴 ハミングで鼻腔の響きの確認
4	／	歌唱基礎④	喉の柔軟性 声門の開閉運動
5	／	歌唱基礎⑤	高域の拡大 様々フレーズで発音
6	／	歌唱基礎⑥	ボイスチェンジ法 胸声区から中声区、頭声区へ変化
7	／	歌唱基礎⑦	リズムトレーニング ハンドクラップで表現
8	／	歌唱基礎⑧	音程トレーニング 様々インターバル使用し発声
9	／	歌唱基礎⑨	洋楽の発声法 正しい英語発音を身に付ける
10	／	歌唱基礎10	コーラスの強化 ハモリの耳をきたえる
11	／	歌唱基礎11	課題曲歌唱 I 合唱曲(課題曲 その1)歌唱チェック
12	／	歌唱基礎12	課題曲歌唱 I 合唱曲(課題曲 その1)歌唱チェック
13	／	歌唱基礎13	課題曲歌唱 II 合唱曲(課題曲 その2)歌唱チェック
14	／	歌唱基礎14	課題曲歌唱 II 合唱曲(課題曲 その2)歌唱チェック
15	／	歌唱基礎15	課題曲歌唱 III 合唱曲(課題曲 その3)歌唱チェック
16	／	歌唱基礎16	課題曲歌唱 III 合唱曲(課題曲 その3)歌唱チェック

□ 到達目標

歌唱表現の習得

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱表現			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	タレント・MC・アーティスト

□ 授業概要

発声法及び歌唱表現力を深めるための実習を行う。

□ 授業テーマ

美しい自然な声で歌うために必要なテクニックを習得する。
歌詞と音楽の関係を探り、その歌曲の持つ言葉のリズムと旋律性を生かした歌唱表現技術を学ぶ。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	歌唱基礎①	基礎発声 リップ、タンゴロールで抜力させる
2	／	歌唱基礎②	Mixvo.の定着 やわらかい響き作り
3	／	歌唱基礎③	口・鼻・喉の共鳴 それぞれの違いの確認
4	／	歌唱基礎④	Middlevo.の強化 閉鎖筋の強化
5	／	歌唱基礎⑤	リズムトレーニング&音程 音程発声にリズムを追加
6	／	歌唱基礎⑥	ゴスペル4声パート練習 パートごとの安定
7	／	歌唱基礎⑦	ゴスペル4声5曲完成 発表の場を設け、達成感を味わう
8	／	歌唱基礎⑧	課題曲練習 ゴスペル歌唱チェック
9	／	歌唱基礎⑨	課題曲練習 ゴスペル歌唱チェック
10	／	歌唱基礎10	課題曲歌唱 I ゴスペル(課題曲 その1)歌唱チェック
11	／	歌唱基礎11	課題曲歌唱 I ゴスペル(課題曲 その1)歌唱チェック
12	／	歌唱基礎12	課題曲歌唱 II ゴスペル(課題曲 その2)歌唱チェック
13	／	歌唱基礎13	課題曲歌唱 II ゴスペル(課題曲 その2)歌唱チェック
14	／	歌唱基礎14	課題曲歌唱 III ゴスペル(課題曲 その3)歌唱チェック
15	／	歌唱基礎15	試験用課題曲レッスン 歌唱チェック
16	／	歌唱基礎16	試験用課題曲レッスン 歌唱チェック

□ 到達目標

歌唱表現の習得

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタッフワークⅡ			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	舞台装置集団 兄弟船 小細工部

□ 授業概要

進級公演の経験を生かして、夏の公演の準備を進める。

夏の公演を成功へと導く。

□ 授業テーマ

演劇IQの向上

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	進級公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
2	／	片付け	在庫管理。
3	／	公演の準備①	班分け。リーダー選出。安全管理について
4	／	公演の準備②	仮道具準備①。舞台と客席の関係
5	／	公演の準備③	公演準備：仮道具準備②
6	／	公演の準備④	公演準備、チラシのチェック。
7	／	公演の準備⑤	公演準備、チラシの最終チェック。
8	／	公演の準備⑥	公演準備、宣伝方法確認。図面提出。
9	／	公演の準備⑦	公演準備、計画再確認。
10	／	公演の準備⑧	公演準備：仕上げ①
11	／	公演の準備⑨	公演準備：仕上げ②
12	／	公演の準備⑩	公演準備、最終チェック。
13	／	夏公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
14	／	片付け	在庫管理。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演の成功

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 2 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタッフワークⅡ			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	舞台装置集団 兄弟船 小細工部

□ 授業概要

集大成。卒業公演に向けて準備を進める。
卒業公演を成功へと導く

□ 授業テーマ

演劇IQの向上

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	公演の準備①	劇場の機構について。班分け。リーダー選出。
2	／	公演の準備②	仮道具準備①
3	／	公演の準備③	仮道具準備②
4	／	公演の準備④	仮道具準備③
5	／	公演の準備⑤	計画再確認①
6	／	公演の準備⑥	宣伝方法確認。
7	／	公演の準備⑦	計画確認②
8	／	公演の準備⑧	チラシのチェック。
9	／	公演の準備⑨	チラシの最終チェック。
10	／	公演の準備⑩	図面提出。
11	／	公演の準備⑪	集客チェック。
12	／	公演の準備⑫	仕上げ①
13	／	公演の準備⑬	仕上げ②
14	／	公演の準備⑭	最終チェック。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演を成功させる

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス表現			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	ダンサー・インストラクター

☐ 授業概要

踊るために必要な基礎的なトレーニングを継続しつつ、1 年次より複雑なダンスを構成します。

☐ 授業テーマ

フォーメンションダンスを動画で収録。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	課題ダンスの創作①	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
2	／	課題ダンスの創作②	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
3	／	収録用トレーニング①	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
4	／	収録用トレーニング②	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
5	／	収録用トレーニング③	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
6	／	収録用トレーニング④	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
7	／	撮影①	
8	／	課題曲決定	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
9	／	創作	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
10	／	収録用トレーニング①	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
11	／	収録用トレーニング②	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
12	／	収録用トレーニング③	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
13	／	収録用トレーニング④	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
14	／	撮影②	
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

課題ダンスの収録

☐ 評価方法

実技試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス表現			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	ダンサー・インストラクター

☐ 授業概要

踊るために必要な基礎的なトレーニングを継続しつつ、1 年次より複雑なダンスを構成します。

☐ 授業テーマ

フォーメンションダンスを動画で収録。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	課題ダンスの創作①	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
2	／	課題ダンスの創作②	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
3	／	収録用トレーニング①	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
4	／	収録用トレーニング②	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
5	／	収録用トレーニング③	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
6	／	収録用トレーニング④	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
7	／	撮影①	
8	／	課題曲決定	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
9	／	創作	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
10	／	収録用トレーニング①	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
11	／	収録用トレーニング②	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
12	／	収録用トレーニング③	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
13	／	収録用トレーニング④	ダンスに必要な筋肉強化のトレーニング。
14	／	撮影②	
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

課題ダンスの収録

☐ 評価方法

実技試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習 I			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	舞台装置集団 兄弟船 小細工部

□ 授業概要

進級公演の経験を生かして、夏の公演の準備を進める。
夏の公演を成功へと導く。

□ 授業テーマ

演劇IQの向上

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	進級公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
2	／	片付け	在庫管理。
3	／	公演の準備①	班分け。リーダー選出。安全管理について
4	／	公演の準備②	仮道具準備①。舞台と客席の関係
5	／	公演の準備③	公演準備：仮道具準備②
6	／	公演の準備④	公演準備、チラシのチェック。
7	／	公演の準備⑤	公演準備、チラシの最終チェック。
8	／	公演の準備⑥	公演準備、宣伝方法確認。図面提出。
9	／	公演の準備⑦	公演準備、計画再確認。
10	／	公演の準備⑧	公演準備：仕上げ①
11	／	公演の準備⑨	公演準備：仕上げ②
12	／	公演の準備⑩	公演準備、最終チェック。
13	／	夏公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
14	／	片付け	在庫管理。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演スケジュール管理

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習Ⅱ			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	舞台装置集団 兄弟船 小細工部

□ 授業概要

進級公演の経験を生かして、夏の公演の準備を進める。
夏の公演を成功へと導く。

□ 授業テーマ

演劇IQの向上

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	進級公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
2	／	片付け	在庫管理。
3	／	公演の準備①	班分け。リーダー選出。安全管理について
4	／	公演の準備②	仮道具準備①。舞台と客席の関係
5	／	公演の準備③	公演準備：仮道具準備②
6	／	公演の準備④	公演準備、チラシのチェック。
7	／	公演の準備⑤	公演準備、チラシの最終チェック。
8	／	公演の準備⑥	公演準備、宣伝方法確認。図面提出。
9	／	公演の準備⑦	公演準備、計画再確認。
10	／	公演の準備⑧	公演準備：仕上げ①
11	／	公演の準備⑨	公演準備：仕上げ②
12	／	公演の準備⑩	公演準備、最終チェック。
13	／	夏公演の振り返り	次回公演の課題の洗い出し。
14	／	片付け	在庫管理。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演スケジュール管理

□ 評価方法

実施試験

□ 教科書・参考文献

□ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナール応用			8	幸田 真洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	劇団hallbrothers 主宰/代表

□ 授業概要

夏の演劇公演へ向けての練習の中で、演技に必要な役作りを学ぶ。
劇公演本番を経験することで、観客の生の反応を体感する。その中から観客の心を動かす技術を学ぶ。

□ 授業テーマ

夏の演劇祭への出演を目指します。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	台本配布	読み合わせ。台本の解釈、自身の役について議論し、深めていく。
2	／	半立ち稽古①	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
3	／	半立ち稽古②	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
4	／	半立ち稽古③	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
5	／	立ち稽古①	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
6	／	立ち稽古②	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
7	／	立ち稽古③	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
8	／	通し稽古①	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
9	／	通し稽古②	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
10	／	通し稽古③	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
11	／	演劇公演 反省会	演劇公演を終えての反省会。自身の課題を確認、次回への対策を議論。
12	／	半立ち稽古④	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
13	／	半立ち稽古⑤	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
14	／	半立ち稽古⑥	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演への出演

□ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

演劇祭用の課題台本

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 2 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナル応用			8	幸田 真洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	劇団hallbrothers 主宰/代表

☐ 授業概要

卒業公演への練習の中で、2年間のまとめをし、自分なりの演技論を体系立てて整理していく。

夏の演劇公演で学んだ観客の心を動かす技術を春の公演の中で実践する。

☐ 授業テーマ

春の演劇祭への出演を目指します。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	半立ち稽古⑦	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
2	／	半立ち稽古⑧	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
3	／	半立ち稽古⑨	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
4	／	立ち稽古④	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
5	／	立ち稽古⑤	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
6	／	立ち稽古⑥	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
7	／	立ち稽古⑦	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
8	／	立ち稽古⑧	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
9	／	通し稽古④	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
10	／	通し稽古⑤	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
11	／	通し稽古⑥	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
12	／	通し稽古⑦	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
13	／	通し稽古⑧	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
14	／	通し稽古⑨	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アクション応用			2	的場 翔平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	アクションチーム-SEITEN-代表

☐ 授業概要

1年生の時に学んだ拳法を復習し、別の拳法を習得する。
1年生の時に学んだ日本剣術を復習し、他の剣術を習得する。

☐ 授業テーマ

アクションの幅を広げる

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	1 年の復習①	空手、カンフーの復習
2	／	ジークンドー①	説明とその特徴を生かしたアクションを行う。
3	／	ジークンドー②	ジークンドーを復習し、空手とカンフーを組み合わせたアクションを行う。
4	／	カポエイラ①	カポエイラの説明とその特徴を生かしたアクションを行う。
5	／	カポエイラ②	カポエイラを復習し、空手とカンフー、ジークンドーを組み合わせたアクションを行う。
6	／	課題	テスト用のアクションを覚える。
7	／	実技試験	アクションのテストを実施する。
8	／	1 年の復習②	日本剣術の復習。
9	／	西洋剣術①	西洋剣術の説明とその特徴を生かしたアクションを行う。
10	／	西洋剣術②	西洋剣術を復習し、日本剣術を組み合わせたアクションを行う。
11	／	西洋剣術③	西洋剣術と拳法を組み合わせたアクションを行う。
12	／	西洋剣術④	西洋剣術、日本剣術、拳法を組み合わせたアクションを行う。
13	／	課題	テスト用のアクションを覚える。
14	／	実技試験	アクションのテストを実施する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

課題のアクションの実演

☐ 評価方法

実技試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アクション応用			2	的場 翔平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	アクションチーム-SEITEN-代表

□ 授業概要

テーマやシーンにあったアクションを行い、アクションの演技面の向上を目指す。
今まで覚えた拳法と剣術を最大限に生かし、自分だけのアクションを追求する。

□ 授業テーマ

アクションを創作する。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ヒーローショー	ヒーローショーをテーマに拳法と剣術のアクションを行う。
2	／	時代劇	時代劇をテーマに剣術のアクションを行う。
3	／	喧嘩	喧嘩のシーンをイメージした拳法のアクションを行う。
4	／	カンフー映画	カンフー映画をテーマに拳法と剣術のアクションを行う。
5	／	まとめ	今までのテーマやシーンを復習する。
6	／	課題	テスト用のアクションを覚える。
7	／	実技試験	アクションのテストを実施する。
8	／	復習	今までの拳法を復習し、アクションを作る。
9	／	復習	今までの剣術を復習し、アクションを作る。
10	／	克服	苦手な技に焦点を当てて、その技を克服する。
11	／	創作	得意なアクションのテーマに合ったアクションを作る。
12	／	応用	術理をシーンの途中で切り替えるアクションを行う。
13	／	課題	テスト用のアクションを覚える。
14	／	実技試験	アクションのテストを実施する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

課題のアクションの実演

□ 評価方法

実技試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 2 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語表現			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	劇団goto 主宰/代表

□ 授業概要

イントネーションのついたナレーションの習得
情報量の多い台詞を喋る

□ 授業テーマ

名作を課題の台本に使用し、個別の課題の把握と改善。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	課題台本 芥川龍之介「鼻」	センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表 ダメ出し
2	／	課題台本 芥川龍之介「鼻」	センテンス毎の指定トーン反復練習 全員発表 ダメ出し
3	／	課題台本 芥川龍之介「鼻」	1分10秒で読めるようテンポ反復練習 発表 ダメ出し
4	／	課題台本 芥川龍之介「鼻」	指定箇所のみのプレスと間で読めるよう反復練習 発表 ダメ出し
5	／	課題台本 芥川龍之介「鼻」	センテンス毎の指定タッチ反復練習 発表 ダメ出し
6	／	課題台本 芥川龍之介「鼻」	指定プロミネンス反復練習 発表 ダメ出し
7	／	実技試験	芥川龍之介「鼻」発表
8	／	課題台本 モリエール「町人貴族」	人物のトーン・タッチ指定、反復練習 発表 ダメ出し
9	／	課題台本 モリエール「町人貴族」	人物のテンポ・間・プロミネンス指定、反復練習 発表 ダメ出し
10	／	課題台本 モリエール「町人貴族」	人物の息・視線・表情提案、反復練習 発表 ダメ出し
11	／	課題台本 チェーホフ「桜の園」	人物のトーン・タッチ指定、反復練習 発表 ダメ出し
12	／	課題台本 チェーホフ「桜の園」	人物のテンポ・間・プロミネンス指定、反復練習 発表 ダメ出し
13	／	課題台本 チェーホフ「桜の園」	人物の息・視線・表情提案、反復練習 発表 ダメ出し
14	／	実技試験	「町人貴族」「桜の園」いずれかを発表
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

個別ダメ出しの克服

□ 評価方法

実技試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 2 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語表現			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

初見読みの完成度を上げる
台本を分析し演技プランを形にする

☐ 授業テーマ

初見読みに強くなる
ラジオドラマを作る

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	初見TVナレーション1	発表 ダメ出し
2	／	初見TVナレーション2	発表 ダメ出し
3	／	初見CMナレーション1	発表 ダメ出し
4	／	初見CMナレーション2	発表 ダメ出し
5	／	初見朗読1	発表 ダメ出し
6	／	初見朗読2	発表 ダメ出し
7	／	実技試験	初見3キャラクター台詞 全て変化をつけて発表 ダメ出し
8	／	ラジオドラマ①	「ちゃんと駐輪」台本分析 読み合わせ
9	／	ラジオドラマ②	「ちゃんと駐輪」読み合わせ 発表 ダメ出し
10	／	ラジオドラマ③	「ちゃんと駐輪」読み合わせ 発表 ダメ出し
11	／	ラジオドラマ④	「ちゃんと駐輪」読み合わせ 発表 ダメ出し
12	／	ラジオドラマ⑤	「ちゃんと駐輪」ペア変更 プラン変更 読み合わせ
13	／	ラジオドラマ⑥	「ちゃんと駐輪」読み合わせ 発表 ダメ出し
14	／	ラジオドラマ⑦	「ちゃんと駐輪」読み合わせ 発表 総括
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

ラジオドラマの完成

☐ 評価方法

実技発表による評価

☐ 教科書・参考文献

日本語アクセント辞典

☐ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	俳優役者表現			4	幸田 真洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	劇団hollbrothers 主宰/代表

□ 授業概要

夏の演劇公演へ向けての練習の中で、俳優に必要なミザンス（全体の構図）を学ぶ
演劇公演本番を経験することで、観客の生の反応を体感する。その中から観客の心を動かす技術を学ぶ。

□ 授業テーマ

夏の演劇祭への出演を目指します。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	通し稽古①	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
2	／	通し稽古②	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
3	／	通し稽古③	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
4	／	台本配布	読み合わせ。台本の解釈、自身の役について議論し、深めていく。
5	／	半立ち稽古①	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
6	／	半立ち稽古②	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
7	／	半立ち稽古③	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
8	／	半立ち稽古④	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
9	／	半立ち稽古⑤	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
10	／	半立ち稽古⑥	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
11	／	立ち稽古①	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく
12	／	立ち稽古②	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく
13	／	立ち稽古③	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく
14	／	立ち稽古④	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演への出演

□ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

演劇祭用の課題台本

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 2 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	俳優役者表現			4	幸田 真洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	劇団hollbrothers 主宰/代表

☐ 授業概要

卒業公演への練習の中で、2年間のまとめをし、自分なりの演技論を体系立てて整理していく。

夏の演劇公演で学んだ観客の心を動かす技術を春の公演の中で実践する。

☐ 授業テーマ

春の演劇祭への出演を目指します。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	半立ち稽古⑦	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
2	／	半立ち稽古⑧	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
3	／	半立ち稽古⑨	台本片手に動きや立ち位置を作っていく。
4	／	立ち稽古④	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
5	／	立ち稽古⑤	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
6	／	立ち稽古⑥	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
7	／	立ち稽古⑦	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
8	／	立ち稽古⑧	セリフを覚え、台本を離して稽古。舞台上でその役として生きられるように身体に落とし込んでいく。
9	／	通し稽古④	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
10	／	通し稽古⑤	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
11	／	通し稽古⑥	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
12	／	通し稽古⑦	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
13	／	通し稽古⑧	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
14	／	通し稽古⑨	場面ごとではなく、オープニングからエンディングまで通して稽古。本番を想定したリハーサル。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2024年度(前期) 俳優学科 2 年					
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	身体応用			4	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	ダンサー・インストラクター

☐ 授業概要

細かなコントロールに関わる筋肉への刺激を入れ、より動ける身体を作っていく
中国系の武術や舞踊をベースにした太極舞の動きで、体幹と重心の使い方を学ぶ

☐ 授業テーマ

演目を広げ、体幹を鍛えます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	計測（4回目）	現在のコンディションを把握する。呼吸のコントロールとドローイン実習。
2	／	筋肉について	トレーニング理論、筋肉を意識して動くピラティス。
3	／	インナーユニットについて	ヘルピックムーブメント・身体育成法I課程。
4	／	身体育成法 I 課程（アドバンス）	スパイン、ヘルピックムーブメント
5	／	身体育成法 I 課程(体感に関わる)	全身のリリースとストレッチ（ボール、椅子）
6	／	実技試験課題の確認と練習	全身のリリースとストレッチ(マット、ボール、椅子)
7	／	テスト	筆記試験（トレーニング理論）、実技試験（回転系）
8	／	動ける身体についての考察	東洋と西洋の運動の違い。太極舞の基本動作。
9	／	太極舞（金）	呼吸系、ウォーミングアップ ピラティスで股関節、背骨に関するエクササイズ（セラバンド）
10	／	太極舞（木）	コア系筋トレ、ピラティスでコア系ムーブメント。
11	／	太極舞（火）	有酸素運動。ピラティスで持久系ムーブメント
12	／	練習	太極舞のそれぞれの動きのポイントを確認して練習
13	／	練習	実技試験課題の金、火の練習
14	／	実技試験（太極舞 金、火）	中国系ムーブメントのポイントを確認
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

各演目の初歩の段階を身体に落とし込む

☐ 評価方法

筆記試験、実技試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	身体応用			4	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	ダンサー・インストラクター

□ 授業概要

コンディショニングの知識と方法 骨格とアライメントで表現する和の所作
身体育成法Ⅱ過程（重心移動、空間、リズム）
コンディショニングのより高い実践力をつける

□ 授業テーマ

演目を広げ、体幹を鍛えます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	計測（5回目）	現状の把握と課題の確認。リリースとストレッチ(マット、ボール)
2	／	和の所作について(座学)	リリースとストレッチ（マット、ボール） 身体育成法Ⅱ課程（重心移動と足運び）
3	／	和の所作の基本	リリースとストレッチ（マット、椅子、ボール）、 身体育成法Ⅱ課程（アドバンス）
4	／	和の所作（邦舞基礎①）	足からのコンディショニング。身体育成法Ⅱ課程（空間形成）。
5	／	和の所作（邦舞基礎②）	コンディションの把握と改善のプランニング、 身体育成法Ⅱ課程（リズムと空間の複合）
6	／	和の所作（邦舞基礎③）	身体育成法Ⅱ課程課（課題の練習）
7	／	実技試験	身体育成法Ⅱ課程より
8	／	コンディショニング実践の為に (座学)	身体育成法Ⅱ課程。CI（コンタクトインプロビゼーション）基礎
9	／	身体育成法Ⅱ課程①	コンディションチェック CIとムーブメントワーク
10	／	身体育成法Ⅱ課程②	コンディションチェックとエクササイズ
11	／	身体育成法Ⅱ課程③	コンディションチェックとエクササイズ
12	／	身体育成法Ⅱ課程④	コンディショニングレポート（課題）の確認
13	／	計測（6回目）	コンディショニングチェックとエクササイズ
14	／	レポート提出	実技試験(身体育成法Ⅱ課程より)
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

測定の向上

□ 評価方法

レポート提出、実技試験

□ 教科書・参考文献

□ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	32	ナレーター・MC

□ 授業概要

過去の表現作品の考察
プロフィール完了
オーディションに向けての業界進出最終準備

□ 授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
希望プロダクション決定
プロフィールの添削・作成・完成・提出・オーディションに参加

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品 プロフィール配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品 プロフィール添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品 プロフィール添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

プロフィール添削・完成・企業への提出
映画作品研究をし表現の幅を広げる

□ 評価方法

オーディション参加のためのプロフィール完成

□ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

□ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	32	ナレーター・MC

☐ 授業概要

過去の表現作品の考察
プロフィール完了
オーディションに向けての業界進出最終準備

☐ 授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
希望プロダクション決定
プロフィールの添削・作成・完成・提出・オーディションに参加

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品 プロフィール配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品 プロフィール添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品 プロフィール添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品 プロフィール完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

プロフィール添削・完成・企業への提出
映画作品研究をし表現の幅を広げる

☐ 評価方法

オーディション参加のためのプロフィール完成

☐ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	224	劇団主宰・代表／演出

☐ 授業概要

企業研修を行いながら実務実践を体験する。
(学内での準備も含む)

☐ 授業テーマ

授業では学べない、企業研修での直接的な気づきを得る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

☐ 到達目標

業界理解

☐ 評価方法

実施試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(前期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	224	劇団主宰・代表／演出

☐ 授業概要

企業研修を行いながら実務実践を体験する。
(学内での準備も含む)

☐ 授業テーマ

授業では学べない、企業研修での直接的な気づきを得る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

☐ 到達目標

業界理解

☐ 評価方法

実施試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2024年度(後期)	俳優学科	2 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	大迫 旭洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	224	劇団主宰・代表／演出

☐ 授業概要

企業研修を行いながら実務実践を体験する。
(学内での準備も含む)

☐ 授業テーマ

授業では学べない、企業研修での直接的な気づきを得る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

☐ 到達目標

業界理解

☐ 評価方法

実施試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他